

令和5年度座間高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時 令和6年3月6日(水)

15時30分～17時00分

司会 副校長

1 開会

- 2 校長挨拶 時候の挨拶 3月1日に卒業式が無事に終了した。4年ぶりに7名のご来賓にもご出席いただいた。卒業生268名全員が出席し、粛々と終了した。

副校長より渡辺会長へ議事進行依頼

3 議題

(1) 令和5年度 座間高等学校 第2回学校運営評議会 議事録

(2) 令和5年度学校経営方針の一部変更について

ア グランドデザイン(令和4年3月10日確認 → 令和6年3月21日改定予定)

イ スクール・ポリシー(令和4年2月28日策定 → 令和6年3月21日改定予定)

(3) 学校評価報告書について

ア 令和5年度報告書(実施結果) (1～5 順次 GLより 校内評価を説明)

イ 欠席者意見(事前欠席の方) 曾根さん(資料 有)

ウ 学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表

(補助資料)

◎4年間の目標の達成度に対して十分満足できる。(達成度80%以上)

○4年間の目標の達成度に対して概ね満足できる。(達成度60%～80%)

△4年間の目標の達成度に対して課題が残る。(達成度60未満)

□学校教育計画を変更した等達成度が評価できない。

エ 令和6年度報告書(目標設定)について

(1年間の目標・取組みの内容を説明)

(4) その他(意見交換等)

部活動活動、進路、地域連携など

4 その他(連絡事項等)

5 閉会

配布資料

- 1 令和5年度第3回学校運営協議会 次第
- 2 学校運営協議会委員長座席表
- 3 神奈川県立座間高等学校 学校運営協議会名簿
- 4 令和5年度座間高等学校 第2回学校運営協議会 議事録
- 5 令和5年度座間高等学校（全日制課程 普通科）におけるスクール・ポリシー  
（令和4年2月28日策定）
- 6 神奈川県立様高等学校（1972年開校）グランドデザイン（令和4年3月10日確定）
- 7 令和5年度 学校評価報告書（最終評価）
- 8 曾根委員からの返信
- 9 学校教育「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表
- 10 令和6年度 学校評価報告書（目標設定）
- 11 令和5年度 生徒・保護者による学校評価アンケート
- 12 地域連携部会の課題など

（議事録）

- (1) 令和5年度 座間高等学校 第2回学校運営協議会 議事録について

内容を確認していただき、何かあれば副校長へ連絡

- (2) 令和5年度学校経営方針の一部変更について

ア グランドデザインの変更

(変更前)	(変更後)
I しっかり勉強	→ しっかり学習
II きっちり生活	→ がっちり部活
III がっちり部活	→ きっちり生活
IV じっくり進路	→ じっくり進路

イ スクール・ポリシーの変更

(変更前)	(変更後)
I しっかり勉強	→ しっかり学習
II きっちり生活	→ がっちり部活
III がっちり部活	→ きっちり生活
IV じっくり進路	→ じっくり進路

(3) 学校評価報告書について

ア 令和5年度報告書（実施結果）（順次GLより 校内評価を説明・報告後、質疑応答）

5、学校管理・学校運営について（副校長より）

学校目標に向けて取り組んだ。特に、7月には不祥事防止職員研修を、講師を招いて実施した。人と人との関わり合いを大切にし、風通しの良い職場を目指した。

質疑応答

イ 欠席者意見（事前欠席の方） 曾根委員のご意見紹介（資料 有）

1、教育課程・学習指導① 学習支援GL（濱田総括教諭）より

学校目標の達成に向けて取り組んだ。特に授業見学を通じ、教育アプリの導入など技術の共有等を行った。達成状況に関しては100%ではないが、発展につなげた活動ができたと感じている。来年度は全学年1人1台端末の導入がほぼ100%になるので、研修等を充実させ対応していきたい。

質疑応答

栗原委員より

今は、ICT技術も発展し、モニター使用の授業や携帯と連動したアプリなども普及している。高校でも良いものは効果的に活用し、質の高い授業を行ってほしいと思っている。質の高い授業への取り組みに向けて、全体の取り組みよりは、個々の授業でどのようにICT技術を活用しているか伺いたい。

濱田総括教諭より

教員の技量、教科の特性、単元等によって使い方は多様である。今後もICTを活用した指導方法のアドバイスをを行い、生徒にとってふさわしい授業にしていきたい。

校長より

ICTを上手に活用し、応用・発展しながら、高みを求めていきたい。

1、教育課程・学習指導② キャリアデザインガイダンスGL（大曾根総括教諭）より

総合的な探究の時間における探究活動において、2年生は、個々に準備したテーマをSDGsに関連させ、仮説をたて、考察を行うという取り組みをグループ活動で行った。12月の発表会活動では、今年度も2年生の発表会に1年生が参加する形で実施した。1年生との交流を通じ活発な意見交換ができており、この体験から得たことを今後活かしてほしいと考えている。

## 質疑応答

山城委員より

昨年度と同様に、2年生の発表に1年生も参加して実施されていた。テーマが次学年以降にも継続していく良い取り組みだと思うので、続けてほしい。

大曾根総括教諭より

準備の期間も豊富であり、深みのある学びになっている。学校としてもこのまま継続していきたい。

栗原委員より

協議をして誤っている場合などは、どのように気付かせるのか。

大曾根総括教諭

1学年が自己理解の年、2学年は学問分野に落とし込みながら先を考えるという取り組み。そうした中でテーマを深掘りし、学習途中でテーマが変わることもある。また、協議を通じ、テーマ設定が不十分であったり、誤りだったりだと気付くこともある。その気づきも大切な学習だと考えている。テーマが間違っているとしてもその失敗を教訓として次に活かせる可能性があるため、そのまま継続させていくことに意味があると考えている。

渡辺会長より

課題意識の継続性につながる学びで良いと思う。先輩や後輩に教えることでの学びもあるので、学年で縛るのではなく行ってもよいのではないかと検討してほしい。

### 3、進路指導・支援 キャリアデザインガイダンス GL（大曾根総括教諭）より

今年度も自分の進路に目標を持たせることができた。推薦利用が多いと思っていたが、一般入試に向けて、自分に合った形態で自己目標を達成する生徒が多かった。担任をはじめ、先生方のサポートもあって達成できたと思っている。来年度は新課程での初めての入試であり、不安を感じている生徒も多い。新課程入試の情報を多く得ていくことが大切だと考えているので、生徒が安心して自己実現できるように引き続き取り組んでいきたい。

## 質疑応答

渡辺会長より

新課程での入試が始まるので管理に管理を徹底してほしい。進路グループより、3年生担当以外への進路指導もしっかり行ってほしい。特に、1・2年生の先生方へも周知が必要だと思っている。

大曾根総括教諭

おっしゃる通りだと思う。しっかり取り組みたい。

2、(幼児・児童) 生徒指導・支援① 心と体の健康支援 GL (太田総括教諭) より

SC・SSWが毎週配置されたことで、SC・SSWの違いを確認しながら、連携して取り組めた。また、夏に教員研修を行うなど、概ね順調だった。

## 質疑応答

栗原委員より

カウンセリングの予約が取りにくいそうだが、担任に話せないシリアスなものが多いのか。

太田総括教諭

生徒はまず、担任に相談するが、専門家の方が話しやすのではないかとということで、担任から次のステップに進める場合が多い。今年度県から導入されたサポートドッグのチェックシートにより、自分から声を出せない生徒にも注目し、自分から発せない生徒にもカウンセリング等の声かけを行っている。担任から学年に、深刻度によってSC・SSWの順になっているので、常に担任や学年、養護教諭などの学校と、SC・SSWは連携している。

校長より

今年度の取り組みを次年度以降も改善しながら実践し、引き続き生徒の学校生活をサポートしていきたい。

2、(幼児・児童) 生徒指導・支援② 生徒活動支援 GL (織田総括教諭) より

引き続き、生徒主体で活動を行っており、目標にあるように主体的に社会参画する能力が身に付くことができていると感じている。例えば、3月の球技大会では、種目を変えたいという積極

的な意見を出す生徒もおり、自分たちの活動という高い意識を持ち、意見交換などして活動している印象がある。

#### 質疑応答

山城委員

いつも部活動の活躍を楽しみにしている。学校での部活動の意義は大きいと思っている。座間高校では運動部の活動が目立っている印象だが、文化部の活動はどうか。

畠山教諭

文化部の活動も盛んで、顧問をしている科学部も頑張っている。文化祭では一般の方に公開しているので、ぜひ観ていただきたい。

#### 4、地域等との協働① 教育連携推進 GL（畠山教諭）より

目標に向けて取り組んだ。特に今年度は HP の各部一斉更新の取り組みに向けて更新講習会を行うなどした成果がでた。これからもスムーズにタイムリーに情報が発信できるように取り組んでいきたい。

#### 質疑応答

石井委員より

PTA でも更新の頻度があがっていると話している。引き続きお願いしたい。

#### 4、地域等との協働② 管理学習 GL（村松教諭）より

1年間の目標に向けて取り組んだ。特に今年度は地域防災と関連付けた公開講座を実施した。これからも地域との連携を活発化し、地域との関りを深めていきたい。

#### 質疑応答

山城委員より

自治体は高齢化に伴い弱体化している。これからも公開講座などに多くの人に参加してもらい、関りを深めていきたい。今年度は防災に関する公開講座が開催されたが、防災が難しい問題ではなく身近な話題として話せるようになるといいと思っている。自治会も高齢化が進み、頼りは若い人たちの力なので、これからも地域との活動を大切にしていってほしい。

浅野委員より

地域の公開講座に関しては、行政からの出張講座等もあるのでぜひ活用してほしい。座間市のHPで紹介している出前講座には、協力ができるものもあるのではないか。ぜひ座間市のHPも調べてほしい。

栗原委員より

災害時に正門を開ける人の問題が解決していたか。

校長より

市と連携して対応していく

#### (4) その他

令和5年度生徒・保護者による学校評価アンケートについて 報告 教育連携G（畠山教諭）

一 資料の通り

#### 質疑応答

渡辺会長より

一 2年生の評価が低い、理由はあるか

校長より

→ 3年生になった時にどれだけあがるか比較してほしい

地域連携部会の課題などについて 報告 副校長より

資料の通り

#### 質疑応答

特になし → 気が付いた点があれば副校長に連絡

学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表 報告 副校長

目標に対する取組の達成度は、80%に近づこうという気持ちを込めての〇評価になっている。

**質疑応答**

渡辺会長より

評価判断は生徒や保護者のアンケートも反映されているのか。

→ 評価判断は企画会議などで、各総括教諭の意見を中心に判断している。

なぜ4年間の目標設定なのか

→ 校長の異動なども配慮されているとは考えにくい。

副校長より

また、気が付いた点があれば、4月26日までの提出なので、3月末まで副校長あてにメールでご意見をいただきたい。

4、その他（連絡事項等）

石井委員より

文化祭の時に行った、PTAの藍染の取り組みに相模原市の中学校の先生が興味を持たれ、中学校の行事にも取り入れたいというような話があった。今後座間市や高校だけでなく、多くの地域との交流を広げていってもいいのではないか。PTAも3000人規模になって盛況に戻ってきていると感じている。引き続き、保護者も学校に来られ、また日常的に関われることをお願いしたい。またそのためには広報活動が大切であると感じている。

校長より

→ 座間支援などとも交流がある。ぜひこれを機会に交流を広めていただきたい。

以上